

# 保育闘争委員会ニュース 公的保育を守り拡充させよう

2017年  
2月6日(月)  
第142号

発行 = 東京自治労連保育闘争委員会 Tel.03-5940-7951 Fax.03-5940-7957 honbu@tokyo-jichiroren.org

## 東京自治労連保育部会総会を開催。

# 100人を超える参加で、熱心な討論！！

1月22日(日)新宿農協会館で、9単組・1市・公務公共一般、本部その他含め107人で部屋に入りきれないほどの参加者となりました。

総会は、議長に永森(江東区職労)岡田さん(世田谷区職労)を選出し、

◎部会長あいさつ：深沢部会長

◎来賓あいさつ：東京自治労連 荻原委員長

福祉保育労・東京地方本 佐々木書記長

◎情勢学習：高橋副部会長

◎2016年度経過報告および2017年度運動方針(案)の提案：帖佐事務局長

◎保育部会労働安全衛生活動2017年度方針(案)の提案：中川副部会長 と進みました。



## 各単組からの報告、討論では

### <国立市職>

- ・民営化の提案が出ている中、11月に市長が亡くなり12月に選挙実施。12/25新市長になる。・・
- ・3月議会で民営化園の園名の発表を予定している。
- ・前回提案された時は、民営化に反対し、白紙撤回させたが、今回は「民営化されても良い」という住民や保護者の声も多い。今後、新市長に申し入れ予定している。

### <墨田区職労>

- ・墨田区保育所整備計画が発表になり、学習会からスタート。
- ・民営化については、区当局が最初に言っていたことが変わっている。財政削減を理由に指定管理者を導入しようとしている。
- ・区職と保育闘争委員会を立ち上げ、住民と共闘して運動をすすめている。
- ・今後7万枚のビラの配布。子育てカフェを3回開催。区議会の署名など運動を展開していく。
- ・産明け対応正規1名が非常勤、任期付対応になってしまう。

### <板橋区職労>

- ・新制度にともなって、1歳未満児の朝夕の長時間保育の受け入れを始めた。
- ・0歳児園は30園あるが、産開け園9園のみに再任用の配置で開始。本来は全園に配置要求している。また、60歳を過ぎて0歳児の当番担当は厳しいので正規職員を要求していく。
- ・36協定を結んだが、園長は内容を理解していない。保育士も同様のため、中味をきちんと知らせるためのブロック別の学習会を5ヶ所で開催し200名参加が参加した。
- ・超勤申請への職場全体の雰囲気を変える。アンケート調査も取っていく。

### <江東区職労>

- ・育休代替を正規で採用している。これは組合で運動し、たたかい勝ち取った制度
- ・民営化、看護師の欠員問題がある。
- ・新人歓迎会では、パワーポイントを使った学習で“江東の保育”組合の大切さ、運動内容を伝えている。
- ・集会の動員参加が減少している原因の一つに、残業の恒常化がある。超勤の実態調査をして改善に向け取り組んでいきたい。

### ＜公共一般＞

- ・非正規の立場の向上等、働きやすい職場づくりをめざし、働く条件をもっと良くしていきたい。保育は最賃2000円を求めている。「保育の専門性」について理解をひろげたい。
- ・「やめたい」と思う人たちの声を拾いあげるとともに、「楽しく働き続けられるよう」労働条件の改善に努めていく。

### ＜文京区職労＞

- ・年度当初調理3名の正規採用があったが、定着せず、民間委託が提案され決定。
- ・職場が無くなるという不安があり、組合の出番である決意を固めた。
- ・労働基準監督署の臨検が入り、36協定を結ぶが、意味が浸透していない。

### ＜世田谷区職労＞

- ・世田谷の保育をめぐり、区議会各党派と懇談を実施。
- ・区議会が国に意見書をあげる。旗開きに自民党以外の議員が出席した。
- ・調理の非常勤の欠員が続き、保育士が調理に入った時もあった。年度途中でやむを得ず、派遣でしのいでいるが、正規採用を訴えていく。

### ＜豊島区職労＞

- ・調理の委託提案。この間正規の退職不補充を非常勤で補填してきたが、非常勤が定着しない。
- ・園名が発表になっているが、4月からの実施ではないので、条件等今後交渉していく。

総会は、これらの報告を受け、経過報告、運動方針を全体の拍手で承認しました。

また、新たな体制を確立して終了しました。

2017年度役員 部会長 齋藤茂則（世田谷）

副部会長 高橋光幸（墨田）

中川トモ子（足立）

桑子千春（文京）

小島眞樹子（目黒）

事務局長 帖佐真澄（板橋）

事務局次長 玉田高德（江東）

三井文代（公務公共一般）



お疲れさま

### ＜足立区職労＞

- ・サービス残業のアンケートから職場の実態が明らかになる。個人の記録をつけていくことが重要。
- ・足立だけの問題ではない。ぜひ共に調査をとり実態を明らかにして、当局に訴え実績に見合った手当を支給させることが必要。
- ・定数外で、再任用を保育園に導入。来年度は、6時間×4日、8時間×3日、7時間×4日の勤務となる。

### ＜目黒区職労＞

- ・公立保育園の民設民営化、待機児童問題、調理委託など課題は多い。
- ・産育休の代替が派遣になっている。仕様書では2年以上としているが、実際は1年以上になっている。任期付き代替も導入している。
- ・派遣がこないのが現状で、二社に増やしたが解決していない。仕様書では、保育士資格が必須だか、保育士資格のない人が来ている。
- ・2015年7月から、派遣が入らない時、非常勤で正規の代わりをする。（2人で1人分）
- ・時間帯が複雑で人が集まらない。2016年4月から欠員が生じている。

### ＜品川区職労＞

- ・年休取得10日以内がほとんど。欠員状態でスタートする園も多い。新人も早期に退職してしまう。超勤も多い。
- ・「超勤申請するように」と指導するような園長も出てきた。人員不足も訴える。
- ・新年に役員が全園に挨拶まわりをし、組合員の団結と組合加入の呼びかけをした。保育学習会も継続している。
- ・民営化について学習会を開催する。住民と共闘し運動を広げていく。



みんなで団結がんばろう！！